

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No242

桐蔭学園高等学校の探究「未来への扉(みらとび)」の発展 —生徒に徹底的に権限譲渡／パフォーマンス課題で教科に繋ぐ—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(ご紹介)



佐相秀崇

さそう ひでたか

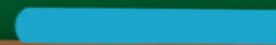
桐蔭学園高等学校教諭
探究統括主任



岡田直哉

おかだ なおや

桐蔭学園高等学校
校長・統括校長



Number9 (桐蔭学園)

⑥ 桐蔭探究「みらとび」で学習パラダイムと高大
接続、カリキュラム・マネジメントを徹底的にはかる



週1時間しかない桐蔭の「探究」がどれだけ考え
抜かれた構造を持っているかをご説明します！

それではご覧ください



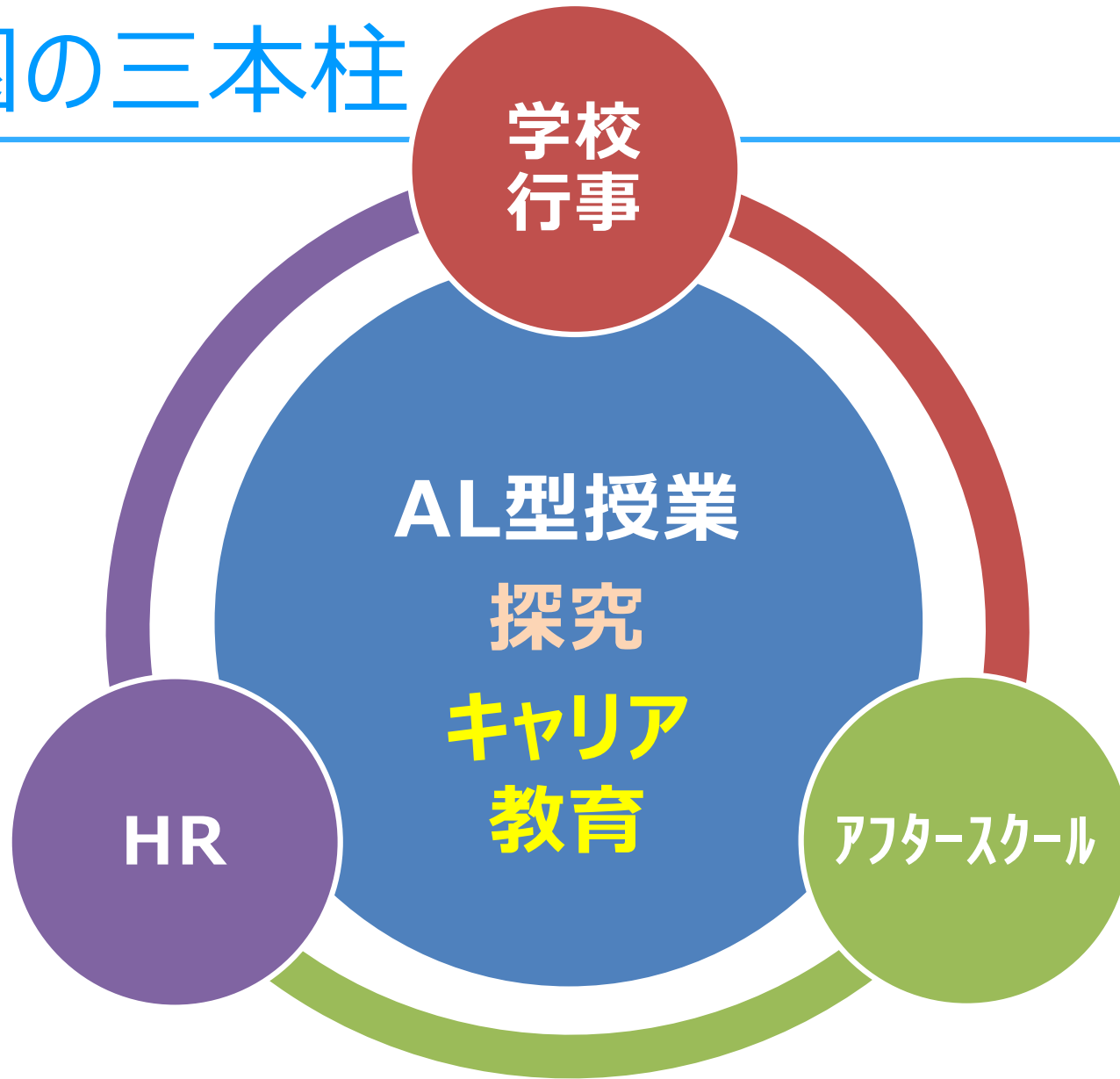
桐蔭学園 探究 (未来への扉・みらとび)

桐蔭学園 探究科主任

佐相秀崇

2024/01/22

桐蔭学園の三本柱





探究のない学び



探究のある**学び**

探究の授業って？

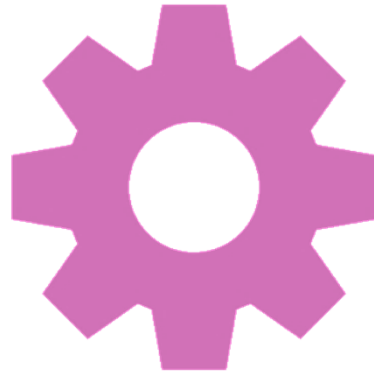
どの教科にも**分類できない**が

どの教科にも**必要**



ギア

GEAR(歯車)のようなもの



未来への扉 (みらとび・総合的な探究の時間)

週1時間×2年間

高校1年生			高校2年生		
1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
探究基礎スキルの習得	希望するゼミに分かれて 個人・グループ研究			発表	論文

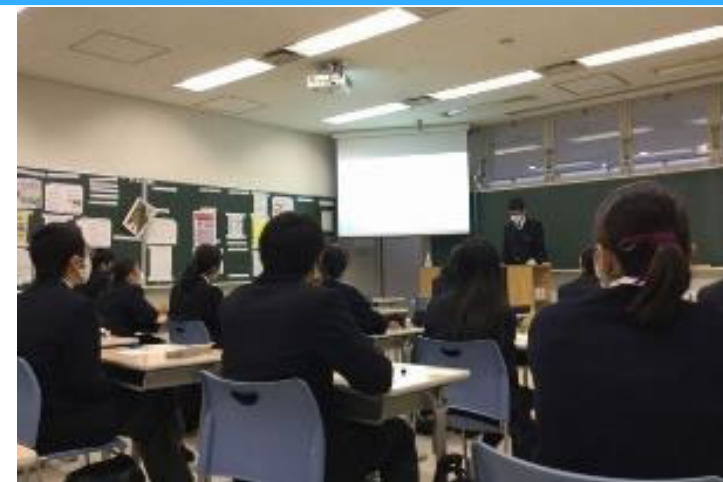
未来への扉 (みらとび・総合的な探究の時間)

◆みらとび発表会 (19年より毎年秋頃開催)

高校1年2年が参加。

高校2年生の中間発表会。

⇒ “緊張感”のある場で全員が発表



◆論文執筆

5年生、2年生修了時
までに

論文を全員が執筆。



未来への扉（みらとび・総合的な探究の時間）

◆本校の特徴

- ・週1単位のゼミ活動
- ・探究のテーマは生徒自身の興味関心による
- ・“全員が”自身の探究を行うために全員参加の発表会を毎年開催

2年間の変化

① 発表会の形式の発展

② 探究の質の全体的向上

③ 教科との往還の強化

①発表会の形式の発展

2年前（2021年12月）



今年度（2023年11月）



- ・質疑応答を活発にすることを目的に「グループワーク」を導入(2022)。
- ・グループワークの活性化のために「協働振り返りシート」を導入（2023）。

①発表会の形式の発展

◆2021年より発表会の運営の主体を生徒に



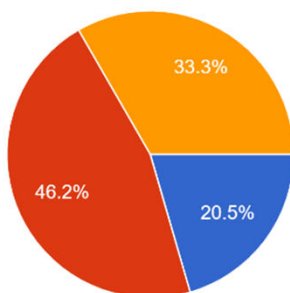
・やらされている探究からの脱却
・みらとび発表会は「知の学園祭」



①発表会の形式の発展

2022年アンケート

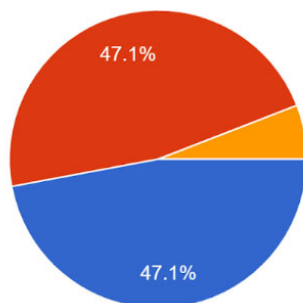
総合してグループワークは充実してましたか
39件の回答



- 全ての班が充実していた
- 充実している班と、充実していない班があった
- 充実していなかった

2023年アンケート

総合してグループワークは充実してましたか
17件の回答



- 全ての班が充実していた
- 充実している班と、充実していない班があった
- 充実していなかった

協働振り返りシート

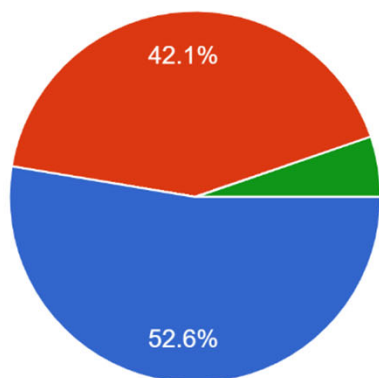
<p>④個人コメント 動画を見て良かった、本番でいい発表になると思うので、発表の準備を頑張りたい。</p>	<p>ゼミ番号 _____ ゼミ名 マルキゼミ 発表者名 A2 組 _____ さん 発表タイトル ラブビーの正体を探るハズミの探偵 15分 議題 スピーク 観覧 12分 最速 グループワークリーダー名 _____</p>	<p>②個人メモ②</p>
<p>①良かったところ 動画を見て、楽しかった。</p>	<p>③もっと知りたい所 協働振り返りをもっと知りたいので、具体的なところを知りたい。</p>	<p>②改善できるところ ラブビーの動画を見て、面白かった。動画を見て、楽しかった。動画を見て、楽しかった。動画を見て、楽しかった。</p>
<p>④個人コメント 動画を見て、楽しかった。</p>	<p>元の知識を深めたい！ →1次の発表を聞いて、質問をたくさんしたい。</p>	<p>④個人コメント 動画を見て、楽しかった。</p>

▲協働振り返りシート見本

①発表会の形式の発展

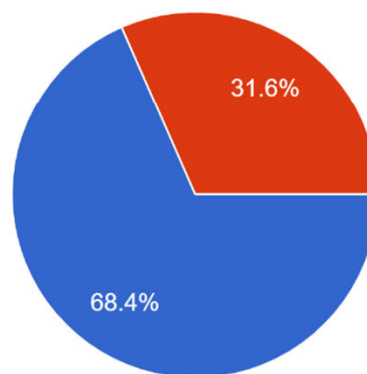
2023年アンケート

アイスブレイクは効果的でしたか
19件の回答



- 効果的であった
- それなりに効果はあった
- 効果はあまり感じなかった
- 全く効果はなかった

「協働振り返りシート」はうまく活用されていましたか。
19件の回答



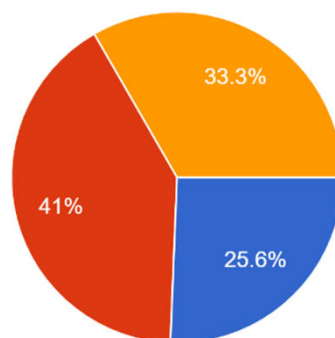
- ほとんどの班で活用されていた
- 活用されている班もあった
- あまり活用されていなかった



①発表会の形式の発展

2022年アンケート

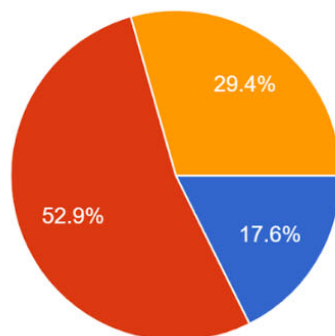
質疑応答は活発でしたか
39件の回答



- 活発であった
- まあ活発であった
- 活発ではなかった

2023年アンケート

質疑応答は活発でしたか
17件の回答



- 活発であった
- まあ活発であった
- 活発ではなかった

②探究の質の全体的向上

発表会を経て、各ゼミの教員が代表を推薦。
 ⇒ そこから探究推進教員が代表生徒を選定し、代表発表会を実施。本年度で3回目。評価、選定にはルーブリックを用いる。

評価	点数	タイトル(問い)	事前調査/知識	独自の情報の収集	情報の分析	一貫性/根拠	表現	参考文献
A	3	問いから生徒本人の生き方考え方、物語、こだわり等が見て取れる。	研究に耐えうる充実した事前調査がなされている。	独自の情報収集が仮説を検証するために繰り返し行われ、探究が深まっている。	整理された情報から独自の、あるいは鋭い視点から分析がなされている。	タイトル、仮説、研究方法、結果、考察の一貫性が明確である。	読み手に伝わりやすくするための工夫がある。絵や図表も的確である。	
B	2	問いから研究内容が見て取れる。または興味を引かれる問となっている。	高校生として十分できている。	インタビューや実験などが十分に果たされ、独自の探究をすすめることに成功している。	情報は整理され、わかりやすく示されている。	タイトルと結論に一貫性があり、根拠も明確である。	工夫されていて見やすい	参考文献が正しく記載されている。
C	1	ありふれた一般的な問いである。または問いから研究内容が見えない。	それなりにできている。	インタビューや実験などの痕跡があるが、仮説を検証するためには効果的でない。	情報を羅列、提示した状態である。分かりづらい。	一貫性は見て取れるが、一部不明瞭な点がある。	一部、見づらい部分がある	参考文献の記載があるが、不明瞭な部分がある。
D	0	問いになっていない。	できていない・不足。	ない。調べ学習に終始している。	なされていない。	内容が支離滅裂。タイトルと内容、結論があていない。	見にくいスライドがある	参考文献を使っていない。示せていない。

②探究の質の全体的向上

本年度は昨年度の選定基準を超える生徒が増加。さらに基準をあげて代表生徒を選出。

⇒ 発表会の様子が「みらとび」のHPに掲載されています。

<https://www.miratobi.jp/presen>



②探究の質の全体的向上

本年度は昨年度の選定基準を超える生徒が増加。さらに基準をあげて代表生徒を選出。

タイトル	ゼミ名
はがれにくい絆創膏の追求	理系マルチ ゼミ
米粉パンを美味しくするにはどうしたらいいか	理系総合 ゼミ
コンビニスイーツがヒットし流行を生み出すには	社会生活マルチ ゼミ
「マジックをより魅力的に見せるには」	理数 ゼミ
”つかむ”には	人文社会 ゼミ
なぜ私たちは制服を着崩すのか	日本文化 ゼミ

みらとび発表会（11/15） & 代表発表会（12/11）



③教科との往還の強化

観点別評価導入にともない、各教科科目でパフォーマンス課題を導入。

⇒ 思考力・判断力・表現力
をはかる。



③教科との往還の強化

【パフォーマンス課題例】

- ・ 高2倫理 「社会課題について考える」

⇒ ニュースや身の回りの出来事を哲学的・倫理的な視点から論じる。

- ・ 高1化学 「身の回りの現象の仕組みについて考える」

⇒ 醤油から塩化ナトリウムを取り出す方法を考える。

③教科との往還の強化

【パフォーマンス課題例】

・高2倫理 「社会課題について考える」

・高1化学 「身の回りの現象の仕組みについて考える」

この前週学習時に、エスカレーターを歩く人止まっている人の割合が少なくなってきた様子を見ました。そこで思い出したのが、最近できた名古屋の条例です。名古屋では2023年10月01日から「名古屋エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が施行されています。簡単に言うとエスカレーターで歩いた人が罰するということです。このような条例はこの世の中に必要なのでしょうか？今回はそのことについて話をしたいと思います。

まず私の意見としては、この条例に対して「反対」です。今の世の中にいらぬと思います。なぜなら、全員が止まってエスカレーター上ったり下ったりしていると、とても安全に例を過ぎる必要などが過ぎてしまうのではないかなと思ったからです。この条例は過去に話題にした思想家にはどう考えられるのかを考えるべく、私は2人の思想家を振り返ってみました。

1人目は**ベンサム**です。ベンサムの考え方の中には、「最大多数の最大幸福」というものがあります。それは最も多くの人々に最大の幸福をもたらす行為を善とみなす立場のことです。エスカレーター 使用者にアンケートを取らなければどの方法が最大多数の最大幸福となるか分かりにくそうですが、私的には今までの条例がない方法である方が最大多数の最大幸福に近いのではないかなと思いました。私たちが普段、急いでいる人が多いのに更に急いでいなくていいという人が止まってエスカレーターを降り降りしています。それなのに条例を作ってしまうと急いでいる人が我慢をしなければいけなくなるからです。条例がある方がその急いでいる人の分の幸福がありません。なのでベンサムだったら「最大多数の最大幸福」の考えしによって、この条例には反対すると思います。

そして2人目は**カント**です。**カント**は「道徳法則」について考えました。道徳法則とは命令という形で表されていて、定言法則と言われる無条件の命令のことです。カントの定言法則は「汝の意思の格が常に同様に普遍的立法の原理として実行しうるように行なげよ」という言葉で表されています。それは、「自分がやる行為をするときの判断基準に至つて他の人たちがやるべき判断も決めたとしてたら、多くの人達もまた自分と同じ行為をする事になり、半信で行るに比べ大きな影響をもたらすはずですが、そのような半信の行動にやくなった時にどのような幸福が得られるのかよく考えよう」という意味です。カントだったらこのエスカレーター 問題に対してどう考えますでしょうか。私はカントはこの条例に対して「反対」をするのではないかなと思います。この場合考えられるのは道徳です。まず1つ目は全員が止まった時です。全員が止まって降り降りしなくても安全ではありませんが、エスカレーターがとんでもないスピードで回ります。急いでいる人を危険にさらすことによって、より危険な状況、可能性も考えられます。次に2つ目は、全員が歩いた時です。全員がエスカレーターを歩いたら少し安全にはかかってしまいがちですが、エスカレーターが故障することがなく降り降りすることが出来ません。また、普段歩く必要のなかった急いでいる人も降り降りすることによっていつもより時間にも余裕にも余裕を持たせることが出来ると思います。なのでカントだったらこのような場合を考えたうえで条例に反対するのではないかなと思いました。なんならカントは考へたのままだけではなく、「全員歩きましょう」という条例を作ってしまうのではないかなと思います。

このようなことから私は、やっぱりこの条例はいらぬのではないかなと思います。新しい条例を作るまでは行かなくても、今までの従来の**道徳法則**が**道徳**だと思いました。名古屋からこの条例が広がらないことを願っています。

高校1年 化学基礎 「パフォーマンス課題・1 単位」

※数値はすべて有効数字3桁とする

1. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

水の密度 (g/mL)	1.00	質量 (g)	100
蒸発した水の質量 (g)	1.63	質量 (g)	100

※数値はすべて有効数字3桁とする

2. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

3. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

4. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

5. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

6. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

7. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

8. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

9. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

10. 100gの水を加熱して沸騰させた後、100mLの水を蒸発させた。このとき、水の質量は100gから100mLの水の質量に減少した。この減少した水の質量を求めよ。

HR NO 氏名 解答例

2023年度外部コンテスト

◆ **高校生ビジネスプラン・グランプリ**
学校賞「ビジネスプランゼミ」

◆ **社会科研究発表大会**

高文連会長賞「伝統的な水防工法を活用した現代水害への対策」

部会長賞「人と人をつなぐ道」

2023年度外部コンテスト

◆ Benesse全国探究コンテスト

1次審査通過9名（現在2次審査）

- ・アイドルの人権～恋愛禁止について～
- ・ハイキュー！！のスーパープレイと現実のコネクションを読み解く
- ・はがれにくい絆創膏の追求
- ・宇宙空間で光の圧力を使った送電を考える
- ・AIが法廷に立てば冤罪をなくせるのだろうか
- ・難民・避難民の現状～私たちができることとは～
- ・遺伝子組み換えやゲノム編集技術で架空の生物は作れるのか
- ・目で食を楽しむには
- ・伝統的な水防工法は現代の水害に活用できるのか

◆ 中高生全国探究コンテスト

2次審査通過2名（最終審査は2月）

- ・ホームレスの視点から見る現代人の求める自由とは
- ・生態学の視点から見るポケット・モンスターの世界



TOIN GAKUEN